

## 2021 年 11 月 ITU-R Joint WPs1A 1B 1C 会合報告書

【会合名称】 ITU-R WPs Joint WPs 1A 1B 1C 会合

【会 期】 2021 年 11 月 3 日（水）

【開催場所】 Virtual meeting（GoTo Webinar）

【概 要】

本会合は、今研究会期における第 3 回会合である。世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、昨年度から引き続き Virtual meeting の形式で行われた。本会合には、34 の主管庁、2 の認定された運営機関、10 の科学又は産業組織、その他の地域及び国際機関等から、計 193 名が参加した<sup>1</sup>。日本からは市川氏、服部氏、竹内氏、木原氏、志賀氏、松宮氏、沖嶋氏、山本氏、佐々木氏（総務省）、加茂氏（キーサイト・テクノロジーシンガポール）、小川氏（NICT）、庄木氏（東芝）、大谷氏、篠原氏（京都大学）、藤本氏（オムロン）、関野氏（電気興業）、久保田氏（テレコムエンジニアリングセンター）、田中氏、池田氏、梶原氏（パナソニック）、小林氏（周波数管理・作業計画委員会）、安井氏（YRP 研究開発推進協会）、山崎氏（三菱電機）、塚本氏（豊橋技術科学大学）、石田氏（ワイヤレスクレフ）、関野氏（電気興業）、佐々木氏（デンソー）、鞆田氏（三菱総合研究所）、栗原氏、粕谷氏、木村氏（NTT データ経営研究所）の計 31 名が参加した。

表-1 Joint WPs 1A 1B 1C 会合の要職者

議長：Wael SAYED 氏（SG1 議長、エジプト）
Working Party 1A 議長：Raphael GARCIA DE SOUZA 氏（ブラジル） 担当：スペクトラム技術に関する作業部会
Working Party 1B 議長：Bin LIU 氏（中国） 担当：周波数管理手法に関する作業部会
Working Party 1C 議長：Ralf TRAUTMANN 氏（ドイツ） 担当：電波監視に関する作業部会

ジョイント会合では、前回の SG1 会合の結果及び CPM 報告案のアップデートが紹介され、特段質疑なく了知された。また次回の SG1 会合に向けた文書作成について作業方法やガイドライン、フォーマットの参照等が紹介され、特段質疑なく了知された。

なお、SG1 所掌の研究課題、勧告、報告等の責任グループの担当に関し、スプリアス領域における不要輻射の許容値を定める ITU-R 勧告 SM.329 は WP 1A が責任を有する一方、測定については WP 1C が担当する体制である点について、周波数管理に関するコンサルタント企業である ATDI か

<sup>1</sup> WP 1A の参加者リストより。

ら不要輻射の研究を扱う WG 1A3 と電波監視の技術的課題を扱う WG 1C1 が協力して作業をするべきであり、ステアリングで体制を議論し、本会合での作業を踏まえて関連する WP 5D や 3 GPP に対して見解を提示すべきであるとの意見があった。

さらに ATDI は、決議 9 は ITU-D と ITU-R のディレクターに対して周波数管理に関して先進国による途上国支援の取り組みを説明する文書を作成するよう求めているため本会合において各 WP の議長は心に留めておいてほしいとの意見を述べた。